

絶望の先に本当の希望があった。

# 世界でいちばん美しい村

ネパール大地震の震源地に向かった写真家が出会ったのは

愛と祈りと絆で結ばれた

世界でいちばん美しい人々が住む村だった

2020年2月19日(水)  
16:00 ~ 19:00  
せんだいメディアテーク



プロフィール：石川 梵 (いしかわ ぼん)  
写真家・ノンフィクション作家・映画監督  
2015年ネパール大震災取材し映画製作に着手。  
大自然に生きる人と祈りをテーマに数々の映像作品を手掛ける。このほかに代表著書『鯨人』、写真集『The Days After東日本大震災の記憶』

写真家石川梵 初監督作品

監督・撮影：石川梵 ナレーター：倍賞千恵子  
エグゼクティブプロデューサー：広井王子 プロデューサー：石川梵  
編集：笹輪広二 編集協力：道正由紀 音楽：Binod Katuwal \*はなおと\*  
オフィシャルサポーター：関野吉晴 野口健 栗城史多 高橋ソトム 安田菜津紀 佐藤利明 宮崎学 竹沢うるま 田口ランディ 岡本有子  
協力：松竹 Canon Cinema Sound Works 後援：ネパール大使館 配給：太秦

©Bon Ishikawa  
2016年 | 日本 | DCP | ドキュメンタリー | 108分  
himalaya-laparak.com



プログラム：

開会 | 16:00

映画上映 | 16:15~17:58

「世界でいちばん美しい村」

監督講演 | 18:05~18:35

登壇者：石川梵氏

参加費：無料 (先着80名様)

問合せ先：saigaijinbun.kudo@gmail.com

担当 工藤 さくら (災害人文学)

使用言語：ナレーション(日本語)、英語字幕

会場：せんだいメディアテーク  
7F シアタールーム  
(仙台市青葉区春日町2-1)

※ 公共交通機関をご利用ください。



←Google  
マップQR



指定国立大学災害科学世界トップクラス研究拠点  
東北大学災害人文学ユニット

東日本大震災に対応する形で、文化人類学・宗教学・歴史学は災害復興や防災に関わる研究事業を行うようになりました。従来、これらの学問分野は基礎研究を基軸としており応用的な側面は副次的な扱いでしたが、震災以降そうした状況は変化しました。具体的に言えば、文化人類学や宗教学は民俗芸能などの無形民俗文化財が持つ震災復興への役割についての実践的調査研究を、歴史学は地域の歴史文書資料に関わる保全活動を行ってきました。本ユニットは、これまで蓄積されてきたこれらの分野における災害に関わる実践的研究の成果をふまえ、新たな研究領域の開発と発展を総合的に行うことを目的としています。

本企画は、指定国立大学・東北大学災害人文学ユニット（以下、災害人文学）と文化庁・無形文化遺産保護事業の共同企画として開催されるシンポジウムにかかる特別企画です。

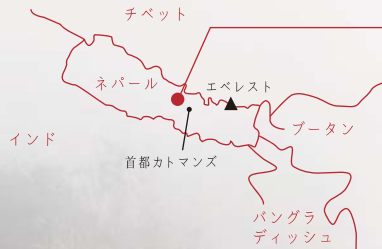
災害人文学では、慰霊碑・遺構・遺産など災害から「残されたもの」の意義や活用に注目して、毎年、国際シンポジウムを開催してきました。今回は、2015年4月25日に発生したネパール大震災のドキュメンタリー映画を取り上げ、上映後、石川梵監督をお招きして講演を行います。制作背景や制作側の視点を交え震災映像のアーカイブ化とその活用について考えていきます。

大地震を乗り越えて、強く生きる。  
家族と人々の絆を感じるあたたかな日常。

2015年4月、約90000人の犠牲者を出したネパール大地震。写真家・石川梵は震災直後、ジャーナリストとして初めて現地へ入り、ヒマラヤ奥地の震源地・ラプラック村にたどり着いた。壊滅した村で石川はひとりの少年と出会った。澄んだ瞳をした、14歳のアシュバドル。彼の村を想う気持ちに石川もまた思いを寄せ、別れ際、二人はふたつの約束をした。ひとつは、また村に戻ってくること。そしてもうひとつは、この孤立した村の惨状を世界に伝えること――。

そこには、忘れていた人間本来の生き方があった。

監督は、写真家でありノンフィクション作家の石川梵。これまでに「伊勢神宮、遷宮とその秘儀」「海人」「The Days After 東日本大震災の記憶」など多くの作品を手がけてきた。そして2015年、大地震直後のネパール取材したことをきっかけに本作にて自身初のドキュメンタリー映画を製作した。ナレーションは、東日本大震災からいまなお、復興活動に参加する女優、倍賞千恵子。壮大なヒマラヤを背景に圧倒的な映像美とカメラワークで綴った叙事詩的物語。



ゴルカ郡ラプラック村

ネパールの首都カトマンズから北西77キロ地点にある。その至近距離に位置するゴルカ郡ラプラック村は、標高2200メートルの傾斜地にあり、その人口は約4,000人。現在は、震災の影響により、地盤が緩み、生活が困難になってしまったため村人の大半はグブシ・パカと呼ばれる、徒歩で1時間半登った標高2700メートルの高地でキャンプ生活を送っている。



世界でいちばん美しい村

監督・撮影：石川梵 ナレーション：倍賞千恵子 エグゼクティブプロデューサー：広井王子 プロデューサー：石川梵 編集：賀輪成二 編集協力：道正由紀 音楽：Binod Katuwal \*はなもと\*  
オフィシャルサポーター：園野吉晴 野口健 栗城史多 高橋ツトム 安田兼洋紀 佐藤利明 宮崎学 竹沢うるま 田口ランディ 岡本有子  
協力：松竹 Canon Cinema Sound Works 後援：ネパール大使館 配給：太秦 ©Bon Ishikawa 2016年 | 日本 | DCP | ドキュメンタリー | 108分 himalaya-laparak.com

【平成28年度 文部科学省選定ドキュメンタリー】